

省農薬あきさかりの刈取予測

～ 今年も葉色の割には水分が低い傾向 ～

収穫目安はコシヒカリの7日後

開穎籾が多く、斑点・胴割粒に注意!

あきさかりの出穂期から収穫期の積算温度は約1,100℃といわれ、9月3日現在の積算は、平坦地（8月8日出穂）で732℃、山間地（8月10日出穂）で620℃となっていますが、籾水分や青籾残存率の登熟調査では平坦地で来週中頃、山間地で来週末の収穫が予想され、コシヒカリと1週間程度遅い成熟が予想されます。それよりも早い収穫が予想される圃場もあるなど、実際は、圃場ごとの播種日や出穂日、登熟期間中の水管理（間断通水）の状況に応じて成熟期は変わってきますので、実際の籾水分と青籾残存率で収穫時期を補正し、適期収穫に努めましょう。（下記参照）

□ あきさかりの特徴 □

- ・ 止葉が長く直立し、出穂後は穂が隠れるような草型。
- ・ 稈長はコシヒカリより10cm程度低い。
- ・ 穂数は、コシヒカリより多めで有効茎歩合が高い。
- ・ 成熟期はコシヒカリと日本晴の中間となる。
- ・ 耐倒伏性はコシヒカリに比べて明らかに強い。

☞ 収穫時直前までの通水とフェーン現象時は湛水を



省農薬あきさかり登熟状況調査結果（9月4日 現在）

	集落名	移植・直播日	出穂日	籾水分	青籾残存率	収穫開始時期
移 植	家久	5月22日	8月7日	26.6%	27.9%	9月9日頃
	上太田	5月13日	8月1日	26.5%	25.8%	9月9日頃
	下黒川	5月16日	8月10日	28.6%	39.4%	9月17日頃
	大塩	5月30日	8月8日	29.4%	77.3%	9月16日頃
	鯖波	5月23日	8月8日	29.0%	62.3%	9月15日頃
	久喜	5月15日	8月10日	28.6%	37.8%	9月17日頃
	北	5月24日	8月7日	27.8%	39.3%	9月12日頃
	向新保	5月22日	8月8日	28.4%	42.4%	9月14日頃
	上真柄	5月21日	8月9日	27.7%	36.6%	9月12日頃

網かけは山間地 あき刈取適期籾水分25% 1日あたり減水分(平坦地0.4%、山間地0.3%)で算定

※ あきさかりは穂や籾が黄化し、水分が低くなっているため、茎葉が緑色をしているため、刈取り時期を見誤ることがありますので、注意してください!



← 畦畔と
↓ 本田内に雑草が多い圃場は

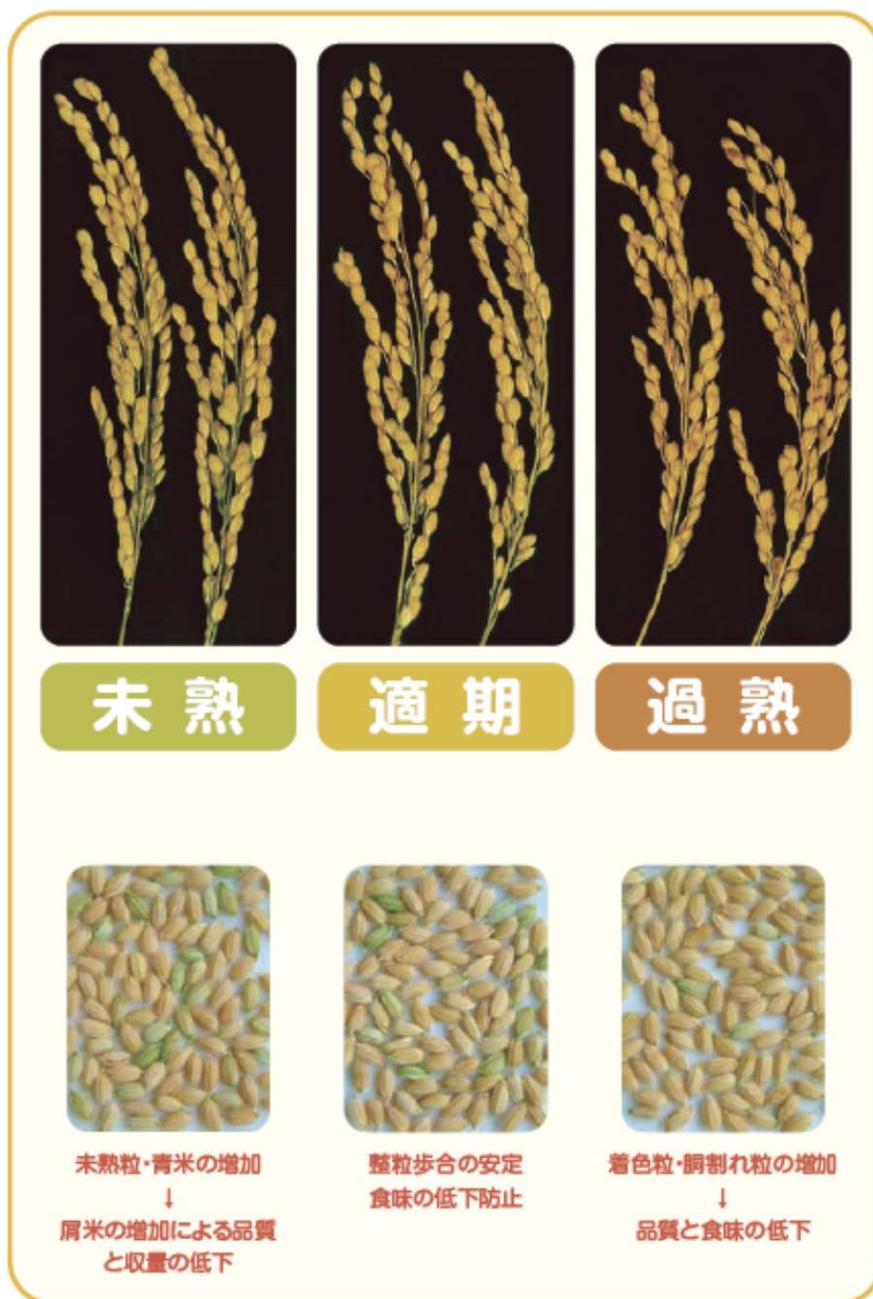


調査した圃場ではコシヒカリ同様、開穎籾が多く見られます。胴割れ米防止のため、乾燥機での1時間の籾水分低下率は0.8%以下に設定し、ゆっくり時間をかけて行うようにしましょう。又、省農薬栽培においては薬剤防除をしていないため、色彩選別機処理を必須としていますが、畦畔及び本田内の雑草が繁茂している圃

場ではカメムシの吸汁被害(斑点米の発生)が極めて多くなることが予想されますので、個人で調整される場合、流量や感度を適正に設定して処理を行ってください。

茎葉色は濃い、籾は黄化し、水分も低い 見た目だけで判断しない!

あきさかり収穫適期の判断と正確な乾燥・調製！



☆ 収穫適期の判断 ☆	☆ 乾燥時の注意点 ☆	☆ 粳摺り・調製時の注意点 ☆
1. 積算温度による推測 出穂期以降の積算温度 990℃を目安に。 2. 粳水分による判断 刈取開始期の粳水分 25% 3. 青粳残存率による判断 1穂あたりの青粳割合 10%~15%	1. 時間当たりの乾燥水分は0.8%以内。 ※急激な乾燥は胴割れの原因になります！ 2. 仕上げ水分は15.0%を目標に。	1. 明るい場所での粳摺り・調製作業を心がける。 2. 粳摺りロールの点検を。 ※片減り、ムラ減りしたロールは肌ずれなどの原因に！ 3. 仕上げ整粒歩合 75%以上を目標に。